

# 心に残る文化財子ども塾 浜田市立松原小学校

## 1. 活動の概要

6月19日(金)、浜田市立松原小学校で、6年生17名を対象に「心に残る文化財子供塾」を実施しました。

はじめに、小学校の周辺の遺跡を学習しました。松原小学校の周辺にはだいたい20くらいの遺跡があります。多くは焼き物を作った跡(石見焼窯跡)です。埋蔵文化財調査センターでも江津道路の建設に際して、市内の上府町で窯跡を発掘しています。今回はその出土品(石見焼)、また後半で登場する火起こし道具の出土品を子供たち手に取って見学してもらいました。

また、現在県西部を「石見地方」といいますが、この地名の由来も校区内にある石神社(古い記録では石見天豊足柄姫命神社)に由来することを紹介しました。ちょっと難しかったかもしれませんが、印象に残った、もっと知りたいとの感想がありました。

後半は、火起こし体験です。最初に先生と埋文センター職員でデモンストレーションをおこないましたが…火種はできますが、なかなか火が付きません。当日は雨が降る前の天候で、ちょっと心配でしたがあとは皆で頑張るのみ。6班に分かれて実際にやってみました。約30分ほど頑張って、火が付かなかった大人をしり目に、4つの班が着火に成功しました。

## 2. 活動の様子





### 3.活動を終えて

#### 1)児童の皆さんから

- ・連房式登り窯の工夫におどろきました。
- ・火起こして火をおこすのには時間がかかったけど、消えるのは一瞬。
- ・この浜田市にたくさん遺跡が残っていることを知ってうれしかったです。
- ・火起こし体験では、昔の人の苦勞がわかりました。
- ・マイギリ式以外の、きりもみ式・火打石などほかの方法も試してみたい。
- ・他の国ではどのように火をつけていたのか知りたい。
- ・土器づくりもやってみたい。

#### 2)先生から

- ・実際の遺物を見て、触れての授業はとてもこども達にとって貴重な経験だった。
- ・火起こし体験では、6班中4班で火を起こすことができてよかった。
- ・前半の座学での講師の方の話が早口で少し分かりにくかった。
- ・パワーポイントの文字が小さいことや、色のポイントが小さく見にくかった。

#### 3)センター職員から

火起こし体験ですが、大人が試しても必ず火が付くわけではありません。前日は冷房を掛けた部屋に着火させるもぐさなどを入れて乾燥を図っていましたが、麻に着火させるのが難しかったです。原理的には火切臼が摩擦で焦げた状態で削れて火種となれば体験はおおむね成功なのですが、やはり火が付くと達成感が違います。この辺りは体験学習としてまだ工夫が必要です。また、先生からも指摘がありましたが、どうしても埋文センター職員の話は難しくなりがちですので、このあたりはセンター内で今後の改善点として共有していきたいと思います。